

2005 年度採集観察会

1. 期 日： 第 1 回 5 月 15 日（日） 第 2 回 7 月 10 日（日）
第 3 回 10 月 16 日（日） 第 4 回 2 月 19 日（日）
2. 場 所： 弘法山（神奈川県秦野市）
3. 集 合： 小田急線 鶴巻温泉駅改札口 午前 10 時集合
4. 世話人： 池田博明

小田急線新宿駅 8：51 発急行箱根行きは、鶴巻温泉駅に 10：00 ちょうどに到着します。途中駅の発時刻は、代々木上原 8：56、下北沢 9：00、登戸 9：10、新百合ヶ丘 9：22、町田 9：31、相模大野 9：36、海老名 9：45 です。

2005 年度合宿について

今からおよそ 100 年前の 1906 年に、パーゼンベルクとストランの二人によって「ヤパーニッシュ・シュピネン（日本のクモ）」が著わされて以降、日本におけるクモ研究が本格化したといっても過言ではありません。そして、ここに記されたクモの多くは佐賀県に滞在したデーニッツ氏によって採集されたものでした。

日本のクモの研究はまさに「佐賀県から始められた」わけです。ところがその後、佐賀県のクモ相についての調査は全くといってよいほど行なわれてきませんでした。そこで、今回ここ佐賀県で採集観察会を実施して、100 年後の佐賀のクモリストを作成することにしました。多くの方々の参加をお待ちしています。

計画の詳細や申し込みについては別紙をご参照ください。

訃報

3 月 10 日に千国安之輔先生が 93 歳で逝去されました。キシダイア 88 号では千国先生の追悼特集を組みます。追悼文の〆切は 7 月末日といたしますので、池田博明あるいは谷川明男までお送りください。電子メール本文あるいは添付ファイルでご送信いただくか、ファイルを保存した FD や CD をお送りくださるとたいへん助かります。

東京蜘蛛談話会総会

2005 年 4 月 17 日 東京環境工科専門学校にて



参加者一同

開式：事務局・初芝伸吾

風邪のため欠席の新海栄一会長より、3 月 10 日に千国安之輔氏が 93 歳で逝去されたとの連絡がありました。密葬は済み、本葬は 6 月 12 日（日）11 時より、長野県南安曇郡穂高町穂高 1816 あずみ野法祥苑でとり行われる予定です。法祥苑の電話番号は 0263-26-3211、または 0263-81-1666 です。

自己紹介・四方山話

（簡略化しすぎて意を伝えていない場合もありますがお許しを：池田）

池田博明：西湘高校がスーパーサイエンスハイスクールに指定されて、私が事務局の担当なので著しく多忙になった。88 号の会誌編集集中なので原稿をお寄せ下さい。

中島晴子：錦三郎作詞の混声合唱組曲『白竜湖』（作曲・安達弘潮）の初演の DVD を入手できました。この組曲には雪迎えを歌った 3 章があります。錦三郎氏のご長男錦仁氏によると、宮本輝の小説『約束の冬』の飛行蜘蛛と錦三郎氏についての記述は誤解に基づく箇所があり、修正されたそうです。私が作曲した無伴奏女声合唱曲集『ビリティスの花』の CD が出来ました（コール・フロイデ CHFR1003, 2500 円）。CD を注文なさる方は〒488-0826 尾張旭市大塚町 1-13-12 寺田由紀子宛（TEL. &

FAX.052-773-9193) に連絡を．寺田氏へのメールは東京蜘蛛談話会のウェブページから参照して下さい．

小澤実樹：欠席予定だったが無理して来ました．クモの文化的な側面の研究を始めます．

谷川明男：珍種の DNA を研究中ですのでご協力をお願いします．生きたままか，100%エタノールで保存して送って下さい．



徳本洋：金沢から寝台特急で来ました．斎

藤慎一郎氏が石川県へ転居され，一緒に調査できたのに最近横浜へ転勤された由，残念．
イソコモリグモの調査と白山のクモの平地部分を調査しています．

安藤昭久：ホームページ『サラグモ屋敷』を作成公開中．花粉症に苦しんでいます．

萩野康則：千葉県立博物館勤務，エダヒゲムシが専門ですが，クモの質問があるので勉強中です．科のレベルで見たことのないクモや主要なクモの識別点を知りたい．

仲條竜太：東邦大学 3 年生．新島で長谷川雅美先生のクモ相調査でクモに魅了された．

植松いのり：東邦大学の実習で 4 日間クモづけの生活ではまった．

小峰光弘：地域の小学校で土壌動物を指導．ハナグモが虫を捕獲した瞬間の写真を送ってきてくれた小学生もいます．

梅林力：電子顕微鏡でクモの微細構造を研究中．近所の郵便局で，新潟出身の「朝蜘蛛（あさぐも）」という苗字の人と出会った．ワスレナグモの出系突起を研究したい．

鈴木喜晴：職場のハウス内でクモを発見．クモの魅力を伝えていきたい．

工藤泰恵：風邪を引いて大変でした．

佐藤幸子：二，三年前から家のオオヒメグモがいなくなった．餌となる虫もいない．寒暖の差が激しいことと関連があるのだろうか．

初芝伸吾：井原庸氏の依頼で，ナミハグモ属を再検討中です．シンゲンナミハグモは地下潜巢なので地下 60cm に住む．山梨県小袖で採集が大変だった．ワタリカニグモを飼育しています．

加藤輝代子：花粉症で苦しんでいます．山梨県増穂町で環境工科の生徒と生態調査をしています．

八幡明彦：環境とクモの研究を GIS ソフトで解析．ナショナル・ジオグラフィックのディスカバリーチャンネル「サムライ・スパイダーズ」のイベントでシンガポールに招待されました．

今井正巳：クモの研究に再挑戦します．

加藤むつみ：調査でときどき丹沢に行っています．

駒野英昭：日光博物館で自然観察員をやっています。

安田明雄：会計をしています。

永井亜紀：ナミハグモを飼育中です。

貞元己良：午前中は参加できず残念でした。午後の講演を楽しみにしています。

佐藤英文：カニムシの研究者です。

甲野涼：子供と一緒に参加しました。

講演（前半）

11 時～11 時 25 分 池田博明「丹沢大山総合調査 2005 年」

昨年度は東モニタリングサイトで 132 種、西モニタリングサイトで 80 種、大山周辺・秦野・養毛でも調査記録。シノビグモを初め、丹沢新記録種もありました。今年も引き続き調査します。

11 時 40 分～12 時 05 分 谷川明男「奄美大島クモ紀行 2005 年 2 月」

2 月の奄美は寒いです。今回、観察・撮影した種は、オオハシリグモ幼体、ナセヤチグモ、アカキナヤチグモ、ガケジグモの一種、フクログモの一種、アマミジョウゴグモと網、オキナワナガイボグモ、アマミカワリアシダカグモ、ナミハグモの一種、アマミトタテグモ、タテスジハリゲコモリグモ、アマミクチバハエトリ幼、アマミキムラグモ、アマミコアシダカグモ幼、アマミヤマシギ、ナメクジ、オオジョロウグモなど。

総会 13 時～14 時

参加者（受付順、敬称略）

小峰光弘、仲條竜太、鈴木喜晴、植松いのり、

谷川明男、小澤寛樹、中島晴子、萩野康則、加藤輝代子、池田博明、佐藤幸子、梅林力、初芝伸吾、安藤昭久、徳本洋、八幡明彦、工藤泰恵、今井正巳、駒野英昭、安田明雄、甲野涼、初芝琢磨、初芝秋沙、永井亜紀、貞元己良、佐藤英文、加藤むつみ 以上 27 名



総会議事録（敬称略）

議長選出：小澤實樹

今年の活動報告

事務局から（初芝伸吾）：昨年，入会パンフレットを作成して，色々な方々に配布しています．

観察会（初芝伸吾）：東京都青梅市の御岳渓谷で観察会を行いました．リストは概ねできていますが，不明種を谷川さんに見てもらっています．その後 KISHIDAIA に発表予定です．

合宿（谷川明男）：山梨県赤石温泉で行いました．宿との食い違いで皆さんに迷惑をお掛けしましたが，無事終了しました．

通信（谷川明男）：原稿がちょっと少なかったのですが，5，10，2月に出しました．

会誌（池田博明）：86号を出しました．87号は今年度にずれ込みましたが，4月末発行予定です．86号は190頁程度になりました．

決算（安田明雄）

別紙の通り

会計監査（梅林 力）

きちんと決算されていました．問題はありません．

今年の活動計画

事務局から（初芝伸吾）：引き続き会員を増やすために，パンフレットを配布する等の活動をしていきます．

観察会（池田博明）：神奈川県弘法山までの道すがら行きます．小田急線鶴巻温泉駅の改札に10時集合，初回は5月15日です．

合宿（谷川明男）：佐賀県古湯温泉で7月30日～8月1日までの間行きます．次号の通信で案内を出します．

通信（谷川明男）：ちょっとした記事でも良いので，原稿を募集中です．

会誌（池田博明）：88，89号を出版する予定です．88号は7月締めで千国先生の追悼号とする．

予算（安田明雄）：別紙の通りだが，一般会員の人数間違えで金額が1万円程度違う．

その他の議案

安田明雄：個人情報保護法の関係で，名簿の発行に関してどのようにしたらいいか．

→通信で名簿を発行する旨を通知して，名簿には名前と郵便番号・住所を載せるが，問題のある方は事務局宛にその旨 Fax するようにと明示する．また，名簿には「流用・紛失しないよう注意してください．」と明記する．

講演（後半）

14時05分～25分 谷川明男「日本産クサグモ属のクモ類」

既知種は 3 種（コクサグモ，クサグモ，イナズマクサグモ）．宮城県伊豆沼産（1985 年に発見）の一種（コクサグモ類似種で地面に近いところに造網）は韓国から記載された種でした．奄美大島産（1996 年に発見）の一種（色が焦茶）は未記載種でした．八重山諸島産のクサグモの一種はクサグモであると結論しました．

14 時 25 分～30 分 谷川明男「日本産ハラダカグモ属の再検討」

既知種はハラダカグモ（タイプ地が記述されていないが，タイプ標本はキイロハラダカグモ幼体でした）とキイロハラダカグモ（タイプは金刀比羅）．西表島産のオオハラダカグモは偶産かもしれません．

14 時 30 分～38 分 谷川明男「ワクトツキジグモの動画」

ネイチャーシネプロの吉田嗣郎氏の撮影した映像．ワクトが虫を捕獲する場面が撮影できたが，網を張りませんでした．

14 時 50 分～15 時 25 分 徳本 洋「国内のクモ類分布状況の変動とその記録のあり方」石川県のイソコモリグモ（絶滅危惧 類）が絶滅寸前．その理由は，長い砂浜がコンクリート護岸になったためです．過去の記録を調査する必要性がありました．今後のことを考慮してきちんとした記録を残しておくべきです．資料として「のと海洋ふれあいセンター研究報告」第 10 号と Kishidaia 第 87 号の徳本論文を参照して下さい．



15 時 30 分～16 時 10 分 八幡明彦「キシノウエトタゲモの絶滅危惧傾向をどう測るか」：キシノウエトタゲモ（準絶滅危惧）の東京の分布調査は鈴木成生の例があった．掘り取りは生息地を攪乱するので，巣穴で予備調査を行った．環境の選好性を評価（緑地がある・地面がある・斜面がある）し，フリーソフト「みんなで GIS」を利用．台地縁からの距離，緑耕作地率と関連するモデルで説明できる可能性がある．



閉式

懇親会には，新海 明氏が参加．

2004 年度決算

東京蜘蛛談話会

収入の部

項 目	予算額(¥)	決算額(¥)	増 減(¥)	備 考
1.04年度納入会費	333,200	599,200	266,000	
(1)04年度分として	333,200	268,400	-64,800	欄外1
(2)05年度以降前納分として	0	330,800	330,800	
2.寄付等	0	300	300	欄外2
3.雑収入	0	0	0	
4.別刷り代	30,000	20,670	-9,330	
5.利息	20	40	20	
収入合計	363,220	620,210	256,990	
6.繰越金				
(1)04年度以降前納会費	492,800	492,800	0	
(2)特別会計(プール金)	811,447	811,447	0	
繰越金合計	1,304,247	1,304,247	0	
合計	1,667,467	1,924,457	256,990	

支出の部

項 目	予算額(¥)	決算額(¥)	差 引(¥)	備 考
1.会誌作成	550,000	262,500	-287,500	
2.会誌発送	106,920	31,440	-75,480	
3.別刷り作成・発送	30,000	28,170	-1,830	
4.談話会通信	90,000	108,867	18,867	
5.事務局等通信費	45,000	35,215	-9,785	
6.事務用品等	12,000	4,812	-7,188	
7.予備費	0	0	0	
支出合計	833,920	471,004	-362,916	
8.繰越金				
(1)05年度以降の前納会費				
a.05年度分	61,600	350,600	289,000	
b.06年度分	25,600	63,600	38,000	
c.07年度分	11,400	15,200	3,800	
d.08年度分	3,800	3,800	0	
e.09年度分	0	0	0	
前納会費の合計	102,400	433,200	330,800	
(2)特別会計(プール金)	731,147	1,020,253	289,106	
繰越金合計	833,547	1,453,453	619,906	
合計	1,667,467	1,924,457	256,990	

繰越金の預け先:郵便貯金(普通) ¥1,394,509
振替口座 ¥11,400
現金 ¥47,544
合計 ¥1,453,453

欄外1:04年度会費は、前納分とあわせて658,800円受領

欄外2:今年度、平松毅久さんと藤沢庸助さんから寄付をいただきました。

以上相違ありません。2005年4月17日 会計 安田明雄 会計監査 梅林 力

2005 年度予算

東京蜘蛛談話会

収入の部

項 目	金 額(¥)	備 考
1. 05年度納入会費	384,400	
(1)05年度分として	384,400	欄外1 前納会費とあわせて735,000円
(2)06年度以降前納分として	0	
2. 寄付	0	
3. 雑収入	0	
4. 別刷り代	30,000	
5. 利息	20	
収入合計	414,420	
6. 繰越金		
(1)05年度以降の前納会費		
a. 05年度分	350,600	
b. 06年度以降分	82,600	
前納会費の合計	433,200	
(2)特別会計(プール金)	1,020,253	
繰越金合計	1,453,453	
合計	1,867,873	

支出の部

項 目	金 額(¥)	備 考
1. 会誌作成	750,000	250,000円×3回(87,88,89号)
2. 会誌発送	162,810	270円×201人×3回
3. 別刷り作成・発送	30,000	
4. 談話会通信	108,000	36,000円×3回(114,115,116号)
5. 事務費・通信費	40,000	欄外2
6. 事務用品等	5,000	
7. 予備費	10,000	
支出合計	1,105,810	
8. 繰越金		
(1)06年度以降の前納会費		
a. 06年度分	63,600	
b. 07年度分	15,200	
c. 08年度分	3,800	
d. 09年度分	0	
前納会費の合計	82,600	
(2)特別会計(プール金)	679,463	
繰越金合計	762,063	
合計	1,867,873	

欄外1: 3,800円×185人+2,000円×16人-350,600円(前納)=384,400円

欄外2: 事務局5,000円、編集5,000円×3人、通信6,500円、会計5,000円
通信費等8,500円

2004年度会員動向

2004年4月1日時点の会員数 198名

入会12名、退会9名(希望6名、規約3名)

2005年度4月1日現在の会員数 201名(一般185名、学生16名)

中島はる作品集『ビリティスの花』

愛知県の女声合唱団コール・フロイデによる、無伴奏女声合唱曲集『ビリティスの花』の演奏がＣＤ化されました。作詞さわみどり、作曲中島はるによる『ビリティスの花』には身近な動物や植物が歌われています。「藍色のコウモリ」「小さなクモ」「ヤモリの歌」「モジズリ」「スイカズラ」「イヌシデ」「カラスノエンドウ」など。

女声合唱組曲『萬葉・相聞歌』から三曲、『萬葉・愛の歌』から四曲も収録されています。指揮は矢野としゑさん、『萬葉』のピアノ伴奏は山田郁子さん。

ビリティスはフランスの詩人ピエール・ルイスの詩集『ビリティスの歌』にちなむギリシア女流詩人の名前。サッフォーとも親しかったという設定ですが、実在するギリシア人ではありません。ドビュッシーが作曲した『ビリティスの歌』は、中島さんの愛する音楽です。合唱曲集『ビリティスの花』は、ビリティスの名が象徴する詩的精霊の力を借りて一気に書かれた詩と曲。“草や木や花の中に吸い込まれ一体となって自然の中に溶けてゆく「声の詩」をイメージしました。（中島はる自作解説より）”。（池田博明記）

錦三郎作詞・安達弘潮作曲の合唱曲『雪迎え』

2005年1月9日（日）のこと、山形県南陽市で「湯けむりコンサート in 南陽」が開催されました。山形交響楽団とみんなで創る音楽会のひとつです。企画は山形県出身の作曲家・服部公一さんです。山形交響楽団でバイオリンを弾いている知人の招きでコンサートを聴かれた中島はるさんは、第3部で演奏された南陽市混声合唱団の混声合唱組曲『南陽讃歌「白竜湖」』に注目しました。作詞は故・錦三郎先生です。作曲の安達弘潮氏の手で伴奏がオーケストレーションされていました。この日演奏された5曲にクモを歌った曲は無かったのですが、調べてみると、この合唱組曲は10曲で構成されており、その第7曲から第9曲の3曲に「雪迎え」が歌われているのです。

錦先生のご遺族の方に連絡を取ってみますと、初演時（平成6年11月13日、南陽市民会館大ホール）の記録ＤＶＤが残されており、そこには「雪迎え」～の3曲が収録されていました。「雪迎え」は雪迎えが飛ぶぞという期待感あふれるリズムミクな歌、「雪迎え」

はクモが飛ぶ様子を詠った歌、「雪迎え」はバリトン独唱と合唱による細い糸、流れるゴッサマーを歌う歌となっています。初演では、南陽市合唱協会合唱団の一員として錦先生も加わっておられました。公演後には錦先生や作曲者、独唱者、指揮者に花束が贈呈されていました。初演のDVDを中島さんに、見せていただきました。

白竜湖は山形県ではもっとも有名な湖です。奥羽本線で山形に向う途中で、南陽市の車窓の東側に見えます。昔は田下駄を履いて耕作したと言われています。湖の周囲には湿原が広がり、その草原からたくさんの子グモが飛び立ちます。

合唱組曲『白竜湖』の「雪迎え」の歌詞を紹介しておきましょう。

雪迎え

“ 雪迎え ” “ 雪迎え ”

“ 雪迎え ” が飛ぶ

“ 雪迎え ” “ 雪迎え ”

雪を知らせる白い糸

早く雪囲いしんなね

菜っ葉積みもしんなね

牛蒡掘りもしんなね

長芋掘りもしんなね .

早く早くしんなね

“ 雪迎え ” “ 雪迎え ”

“ 雪迎え ” が飛ぶぞ

“ 雪迎え ” “ 雪迎え ”

“ 雪迎え ” が飛ぶぞ

雪迎え

小さな 小さな

クモたちが

お尻をあげて

糸を吹き出す

細い 細い 糸のたば

しずまりかえる青空を

糸に引かれてクモたちが

幾千幾万

空を飛ぶ

青空に残して

かけてゆく

かけてゆく

あてどもない

放浪の旅の始まり

青空の遠いかなたを

夢を見ながら , かけてゆく .

小さいいのち

白い軌跡を

雪迎え

しずけて 吹きくる風もなき空に

みだれて遊ぶぞ 糸ぞ見えける

(平安後期 , 永久百首 , 源 忠房)

聖母マリアが昇天する

経帷子の白い裾

ほぐれて流れる 白い糸

聖母マリアを追いかける

細い 細い 白い糸

清らかな あえかな

あるかなきかの 細い糸

(池田博明記)

重要

会員名簿作成にかかる個人情報の扱いについて

今後作成する会員名簿につきましては、会員のお名前と郵便番号、住所を掲載する予定です。郵便番号、住所の不掲載をご希望の会員は、事務局までその旨をご連絡ください。不掲載希望のご連絡がない場合には、会員名簿への郵便番号、住所の掲載について同意していただいたものと判断させていただきます。

事務局 初芝伸吾 186-0002 東京都国立市東 3-11-18-203 (有) エコシス内

E-mail : hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

FAX : 042-501-2652

本の紹介

クモのお話 - クモはこわくない！ ぶん・え なかごめ ひさみ（著者自刊）

「このお話は、クモを見ると逃げ回っていたのに、いつの間にかこわくなくなって、それどころか、大好きになったある小学校の子ども達と、その小学生にクモのことを教えた博士の、本当にあったできごとをもとにしています」。ページをめくると、こう記されていました。

本会の元会長の萱嶋 泉先生が病に倒れられたのは平成 14 年の晩秋のことでした。私は、先生が病気になったという話をいままで一度も聞いたことがなかったので、とても驚きました。幸い病状は回復し、現在は立川市の桜湯園という施設で療養生活を奥様とともに送っておられます。ここは、先年私が居住していたマンションのごく近くにあったために「土地勘もあり」、先生の元に折りあるごとに突然お邪魔してクモ談義に花を咲かせています。本当にいつも突然お邪魔していますので、この場を借りてお詫びします。

先日もお邪魔したときに、「こんな本があるのでどうぞ」と奥様に見せていただいたのがこの本でした。作者は東京都日野市の小学校に勤務されている中込久美先生です。この本は「ゆりのき小学校」の 2 年 3 組の生徒が足掛け 2 年にわたる生活科の授業で、萱嶋先生と一緒にクモの勉強したことをもとに書かれたものでした。

生活科の授業で「クモの勉強をすることにしました」と聞き、「きゃー、いやだよー」と大騒ぎしていた 1 年生が、公園で行なった観察会や学校での授業を通し、きっと萱嶋先生の巧みな話術のせいもあったに相違ありませんが、次第にクモに対する偏見がなくなり、しまいにはクモ好きになっていく様がいきいきと描かれていました。なかでも、私が感心したのは「オニグモにかまれたフミ君の話」でした。容器の中で死んでしまったと思ったオニグモを取り出そうとしたフミ君が突然噛みつかれてしまったのです。フミ君はこのクモが友達の大事なクモだということを知っていたので、その場で振り払おうともせずに、「必死でこらえて、ケースの中に戻すまでがまん」していたのです。「クモが指から離れた瞬間、初めて泣きだしました」。「指を見ると二つの小さな噛み痕から、血がにじみ出ています」。担任の先生が消毒薬をぬりながら「本当にクモの牙って二つあるんだねー」と感心し、フミ君も「前、博士がおっしゃったことが本当だったんだという顔で、じっと指を見ていました。もう、涙は乾いていました」。「かまれるのは、クモが悪いのではなく、人間のクモの扱い方が悪いのだということがわかりました」には感動してしまいましたね。私だけでなく、これをお読みの多くの会員もきっと同じような気持ちになったに違いありません。

「あとがき」の言葉も素敵でした。「私もクモは好きではありませんでした。どのクモを見ても同じに見えるし、へやの中にいたときも、さっさと追い出していました。でも、子供たちと一緒に勉強していくうちに、クモにもたくさんの種類があり、生活も姿も色々

あるのだ、ということを知りました」。「勉強していないクラスの子供たちは、以前の私と同じように、むやみにクモを恐がっています。中には出て来たクモをセロテープで貼ってしまうようなこともありました」。「萱嶋先生が、ご病気でこどもたちの指導をお願いできなくなった時から、子供たちの様子が本当に変わりました。私は、たとえつたないやり方であっても、今まで学んできたことを子供たちに伝えていかなければならないのだ、と思うようになりました。同じ環境の中で、それぞれの役割をもってバランスよく生きている生き物たち。それを嫌うのではなく、同じ命のある生き物として見られることが大切なのだ、ということを知りました」。

この本を読み終わり、私が強く感じたことは萱嶋先生がなさっていたような、クモ好きを増やす活動を我々はどれだけしているのだろうかということでした。談話会の採集会に訪れる小学生や中学生、さらに大人であっても初心者に対して、先生がされるであろう行動を私達がしているか疑問です。意識しているときもありますが、ともすればクモ採集に夢中になりすぎてしまっていたり、ただぼやっとクモの観察をしていたり、手を差し伸べればクモ好きがさらに増えるかも知れないのに・・・反省することばかりでした。

もう一度初心にかえり採集会や例会に参加するようにしなければ、ということを知りたかったと思います。でも、もし「あの時はあんな殊勝なことを書いていたのに、もう忘れていたな」とお気づきの方は、ぜひとも「お叱りの言葉」をかけて下され！。

そして、先生が健康を回復されて、ゆりのき小学校の生徒と清川公園でクモの観察会を再開することになったら、私も微力ながらお手伝いに駆けつけたいと思っています。

(新海 明)

入退会は：

事務局 初芝伸吾 186-0002 東京都国立市東 3-11-18-203 (有)エコシス

E-mail : hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

通信原稿投稿先：

通信担当 谷川明男 247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-2-1416

E-mail : dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp

談話会通信次号の原稿締め切りは2005年8月末日です。ご投稿お待ちしております。

KISHIDAIA 原稿投稿先：

会誌担当 池田博明 258-0018 足柄上郡大井町金手 1099

E-mail : fwgd9084@mb.infoweb.ne.jp

キシダイア 88 号では千国安之輔先生の追悼文特集を組みます。7 月末日〆切といたしますので、ぜひご投稿ください。なお、原稿は、電子メール本文、あるいは添付ファイルでご送信いただくか、ファイルを保存した FD や CD をお送りくださるとたいへん助かります。

東京蜘蛛談話会 2005 年合宿について

東京蜘蛛談話会 2005 年合宿を以下のように佐賀県大和町，富士町にある金刀比羅神社と湯の原付近で行ないます．ここは，100 年前にベーゼンベルク・シュトランによってまとめられた「日本のクモ」の採集地として名高い場所です．100 年後の現在，どんなクモが採集できるのでしょうか．多くの皆さんの参加をお待ちしています．

日程：2005 年 7 月 30 日（土）～ 8 月 1 日（月）

30 日，午後 3 時より「なぜ佐賀合宿か」の講演会も実施します．

宿泊：古湯温泉「山水荘」 佐賀県佐賀郡富士町 Tel 0952-58-2131

費用：宿泊費（1 泊 3 食付き）10000 円（現地にて徴収）

この他に 旅行保険＋車代補助費として 4000 円ほどかかります．

今回は，遠隔地のためレンタカーを数台確保する必要があり，例年より高額の設定となりました．ご了承下さい．

交通：A．鉄道 JR 長崎本線佐賀駅下車．佐賀駅バスセンター（線路，高架下）
乗り場 7 番から，「北山中原」または「古湯温泉・日池」行き乗車
約 30 分．古湯温泉下車．徒歩 3 分．

B．自動車 長崎自動車道佐賀大和インターより，国道 265 号を川上峡・唐津方面．古湯温泉バス停をすぎて古湯温泉センター十字路を右折（この道路狭いので注意）．突き当たりを左折．

申し込みは，6 月 30 日までに下記の申し込み書に必要事項を記入の上，新海 明まで郵送か Fax して下さい．

新海 明 〒192-0352 八王子市大塚 274-29-603 Fax：0426-79-3728

申し込み者には，別途詳細な日程と交通の案内をご連絡いたします．

早めにお申し込み下さい．

.....キ.....リ.....ト.....リ.....

東京蜘蛛談話会佐賀合宿に以下のように参加します（○×を記入して下さい）．

7 月 30 日（土）（ ） 〒（ ）

31 日（日）（ ） 住所

8 月 1 日（月）（ ）

氏名

自動車に参加します（ ） ☎